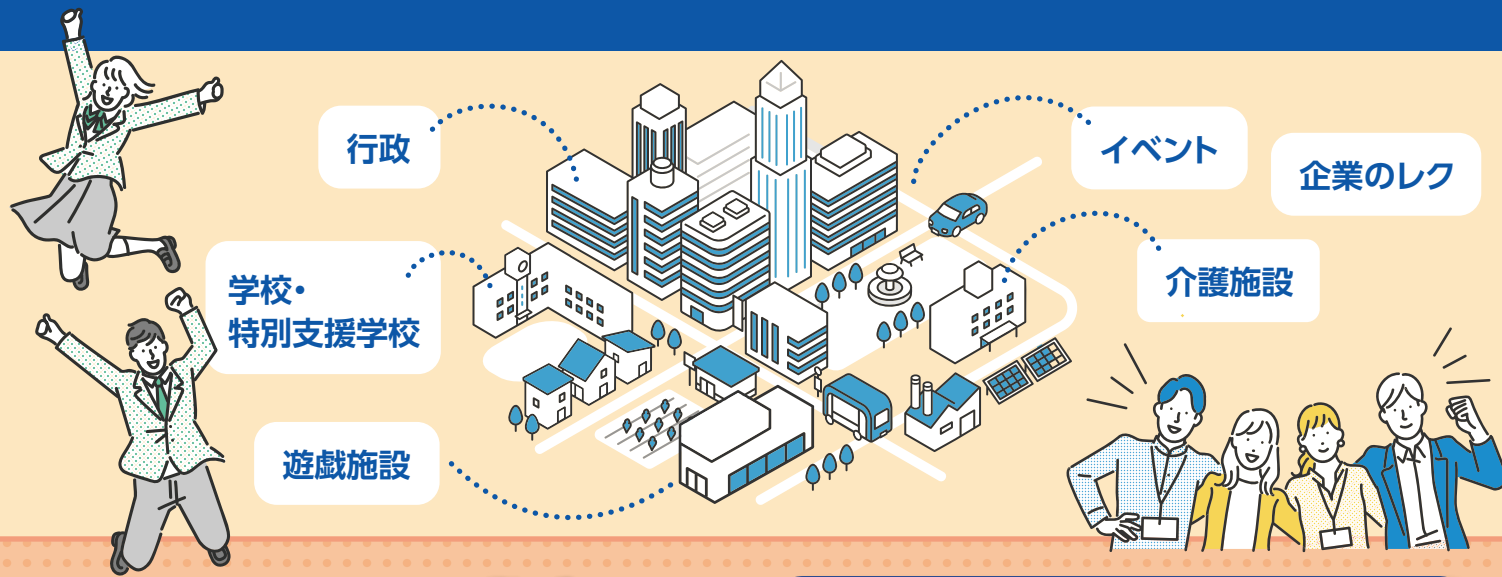
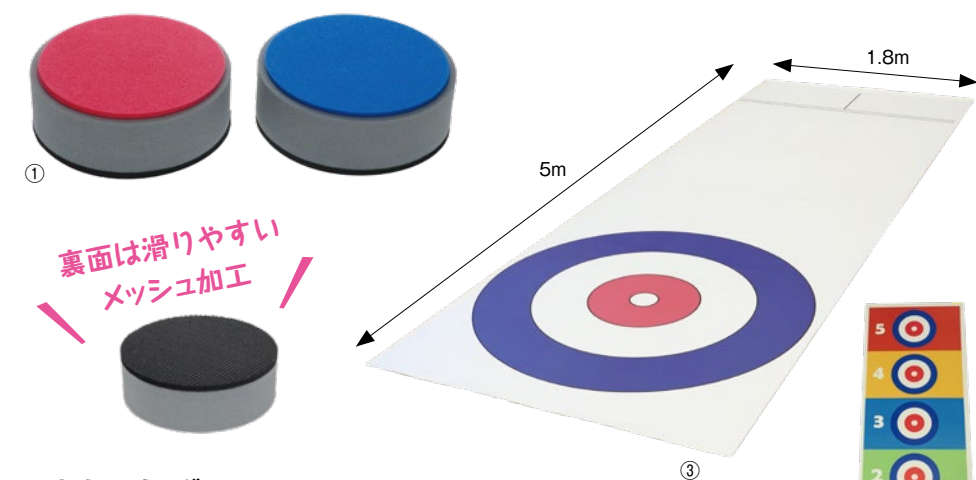


誰もが楽しめるインクルーシブスポーツです！



インクルーシブ教育 教材コンテスト

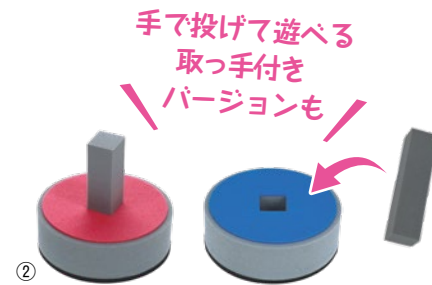
あの子の教材をみんなの教材に
あなたも応募しませんか？
詳しくはこちらをご覧ください▶



フットカーリング

①ストーン（穴なし） 12個セット	913-834	¥14,000 (税込¥15,400)
②ストーン（穴あり）+取っ手パーツ付 12個セット	913-835	¥15,000 (税込¥16,500)
③試合用コート 1.8×5m	913-836	¥72,000 (税込¥79,200)
④試合用コート ミニ 1.8×3m	913-837	¥52,000 (税込¥57,200)
⑤個人練習用コート 0.5×1.8m	913-838	¥12,000 (税込¥13,200)

【サイズ】①②ストーン：直径21cm、厚み4cm③1.8×5m、厚さ1.3mm④1.8×3m、厚さ1.3mm
⑤0.5×1.8m、厚さ1.3mm
【質量】①約40g②約38g（1個あたり。取っ手パーツ取付時は約42g。）③約7kg④約4.2kg⑤約1.6kg
【材質】①②発泡ポリエチレン③④⑤塩ビ



力加減を
練習するマット

セット 内容

- ストーン①②共通：赤6個、青6個 計12個
- ②取っ手パーツ：12本

■製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
■写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なる場合がございます。
■商品のサイズ、質量などは全て（約）の値です。
■このカタログは、2025年5月現在のものです。 [10631]

sanwa

株式会社 三和製作所

〒132-0021 東京都江戸川区中央 4-11-8
tel.03-5607-7811(代) fax.03-5607-7812
https://www.sanwa303.co.jp

皆様をサポートするお近くの代理店

先生のアイデアがカタチになった！

フットカーリング

インクルーシブ教育
教材
コンテスト
最優秀作品



蹴るカーリングが登場！



手で投げても楽しめる！

自然と身につく
力加減の感覚と
協調性

年齢や能力に
応じた
様々な遊び方

安全性に
配慮した
こわれにくい
設計

inCUM
original

フットカーリング ってどんなスポーツ?

フットカーリングは、足でストーンを蹴って楽しむカーリング型のゲームです。

自然と身につく
力加減の感覚と
協調性

蹴るときに力加減やコントロールの感覚を養うことができ、体を動かしながら楽しく学べる教材として活用できます。

安全性に
配慮した
こわれにくい
設計

軽くてやわらかい発泡ポリエチレン素材を使用し、安心して遊べるよう設計されています。

年齢や能力に
応じた
様々な遊び方

子どもたちの年齢や運動能力、人数などによって、ルールを設定することができます。

フットカーリングは?
教材
コンテスト
最優秀作品

開発ストーリー

1 先生のアイデア

■この教材を作ろうと思った理由

手ではなく足でプレイする教材が欲しくて考案しました。狙いは足での力加減のつけかたやコントロールの練習、また、作戦、計算、順番などの学習です。

■工夫した点

転がしてプレイするので、紙皿を蹴りやすい深さにし、コピー紙の芯を中に入れて重さを持たせ滑りやすくしました。

■実際にこの教材を使ってみて

情緒障害の通級指導教室で使っていますが、力加減が苦手な児童が、弱く蹴ることができるようになったり、周りを見て作戦を立てる、効率良く片付けるなど活動の幅も広がっているようです。

2 「教材コンテスト」最優秀賞受賞!

2024年の第1回コンテストで、応募作品総数251点のなかから、見事最優秀賞を受賞しました!

3 製品化(開発秘話)

子どもたちが踏んでも潰れる心配のないウレタン素材で製作。カーリングの魅力は、ストーンの滑りの良さや、ストーン同士が当たったときに弾かれて動くことにあると考え、ウレタンの底面にプラスチックのメッシュを貼ることで滑りと弾きの良さを向上させました。また、手で投げられる取っ手付きタイプも商品化しました。

フットカーリング
考案者
神奈川県小田原市
清水 里佳先生

年齢や能力に応じた 3つの遊び方例

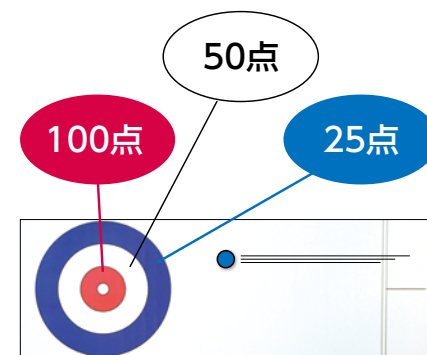
1 蹴る動作や蹴る加減を覚える段階の子に向けた遊び方

- その子に覚えさせたい力加減を決めます(または本人が的の位置を決めます)。
- その力加減で蹴れそうな場所に的を置きます(三角コーン、ストーン、ゴールなど)。
- 一人ずつ蹴っていき、一番近い人が勝ちです。または、ゴルフのように順番に蹴っていき、一番少ない回数で的に近づくまたはゴールした人が勝ちです。



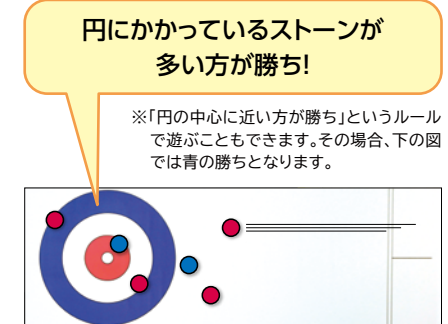
2 ある程度狙ったところに蹴れる段階の子に向けた遊び方

- 床に的のシートを置きます。
- 的の真ん中をめがけてスタートの線からストーンを蹴ります。
- 真ん中の円にストーンが入ったら点数がもらえます(円の大きさによって点数を決めてもよいと思います)。



3 ゲーム性を持たせて複数人でできる遊び方(2~6人)

- 2チームに分かれます。
- チームの色や先攻後攻を決めます。
- チームで相談しながら赤・青のストーンを交互に蹴っていきます。
- 6球ずつ蹴り終わったら、最終的に点数の円にかかっているストーンがいくつかあるか判定します。



教材のねらい

「よく見て距離を考え、どのくらいの力を加えればストーンが進むのか」を考え、自分の体を思ったように動かすことをねらっています。また、ペアの友達と「どのストーンをはじいたら自分たちのチームが勝てるのか」作戦を相談します。



活動報告

何回か教材を経験したグループは、ねらったところにストーンをコントロールできるようになりました。すると、ペアで自然と「次はどれをはじきとばそうか」とか、「ここから蹴ったほうがいいよ」など作戦の相談をするようになりました。

指導上のワンポイント

まずは、感覚をつかんでもらうために何回か蹴る練習をします。思ったよりストーンがすべて進んでいくので力加減を覚えます。ルールに厳しい子がいたら、初めに見本を見せてイメージをもたせてからやるとよいと思います。

